

令和3年1月20日

日本モンテッソーリ協会（学会）役員各位

日本モンテッソーリ協会（学会）
会長（理事長）前之園幸一郎（会長印略）

日本モンテッソーリ協会（学会）
令和2年度第I回常任理事会（書面議決）
のお知らせ

新年おめでとうございます。本年も相変わらずよろしくお願い申し上げます。

さて、当協会（学会）令和2年度第I回常任理事会を開催する時期を迎えました。大変残念ではありますが、昨年11月11日付けの「お伺い」によって決定された通り今回も常任理事会を書面議決にて行うことになりました。新型コロナウイルス感染症が猛威を振っている現今の状況に鑑み致し方ないことと存じます。

今回もすべての理事の先生方にご協力をいただき、拡大常任理事会とさせていただきます。よろしくお願い申し上げます。

先生方には同封いたしました資料にお目をお通しの上、お手数ですが令和3年2月1日までに、書面表決書を下記の通りご提出くださいますようお願い申し上げます。

議案の可決についてはご提出いただいた書面表決書のうち、「承認します」が過半数を超えた場合に可決とさせていただきます。

なお、今回の議案は、第53回全国大会（四国支部担当）を開催するにあたっての大切な議案が含まれておりますので、棄権のなきようお願い申し上げます。

以上何卒よろしくお願い申し上げます。

記

書面表決書は次のいずれかの方法でご提出ください。

1. Montessori1968@nifty.com にお送りください。
2. FAX (027-224-6624) でお送りください。
3. 郵送でお送りください。

郵送先は、371-0801 前橋市文京町1-15-10 鈴木弘美 にお願いいいたします。

以上

書面表決書

令和2年度日本モンテッソーリ協会(学会)第I回常任理事会(書面議決)について、次の通り議決に関する権限を行使します。(原則として各議案について「A(承認します。)」 「B(承認しません。)」のいずれかに○印をお付けください。(事務局))

議案1. 前回の議事の確認

令和2年度予算案の収入の合計金額の訂正 A . B

議案2. 報告事項

- | | | | |
|--------------------------|---|---|---|
| (1) 令和2年度前期事業報告 | A | . | B |
| (2) 令和2年度前期中間決算報告・同監査報告 | A | . | B |
| (3) 令和2年度前期委員会報告—編集委員会 | A | . | B |
| ルーメル・モンテッソーリ奨励基金受賞者選考委員会 | A | . | B |
| (4) ホームページ管理の件 | A | . | B |

議案3. 審議事項

- (1) 第53回全国大会の開催について

本件については、次のA,B,Cのいずれかに○をお付けください。

- A (WEB開催を承認します。)
B (WEB開催を承認しません。)
C (わかりません。)

第53回大会についてのご意見をお聞かせください。

- | | | | |
|---------------------|---|---|---|
| (2) 第54回大会の進捗状況について | A | . | B |
| (3) 第55回大会の進捗状況について | A | . | B |

以下につきましては、ご意見をお書きください。(事務局)

(4)協会に協力して下さる方々への賃金について

(5) 国際モンテッソーリ協会への寄付の凍結について

(6) 退会についての会則の変更について

令和3年 月 日

ご氏名[

]

本配布物につきまして、ご不明な点やご質問がありましたら、ご遠慮なく
09098562866 にご連絡を下さいませ。よろしくお願いたします。(事務局長)

日本モンテッソーリ協会（学会）
令和 2 年度第 I 回常任理事会
（令和 3 年 1 月 23 日開催予定）

資料

令和2年度日本モンテッソーリ協会（学会）第1回常任理事会議案

1. 前回の議事の確認（1件の資料の差し替え）

前回(令和元年度全国理事会)提出され承認された令和元年度決算報告書/令和2年度予算(案)において、令和2年度予算(案)の収入の合計が2000円多く記載されていました。収入合計は55137511円でした。よって、支出合計も手数料を2000円減額することにより13000円、合計金額も55137511円と訂正し、当該の決算書/予算(案)を差し替えさせていただきたくお願いいたします。(本資料1頁参照)

2. 報告事項

(1) 令和2年度前期事業報告（本資料2頁参照）

(2) 令和2年度前期収支決算報告・同監査報告（本資料3～6頁参照）

(3) 令和2年度前期委員会報告（本資料7,8頁参照）

編集委員会報告

ルーメル・モンテッソーリ奨励基金受賞者選考委員会報告

(4) ホームページ管理の件

* ホームページから「住所等変更届」をダウンロードできるようにした。

* 令和2年12月11日付け中国新聞掲載のルーメル神父様に関する記事は、上智大学の卒業生の方から会長宛に反響が寄せられた。

* 支部研修会等の案内ならびに報告を掲載しているのので、各支部に大いに利用していただきたい。

3. 審議事項（本資料9～12頁参照）

(1) 第53回全国大会の開催について（本議案については理事会の態度表明としての採決をいたしますが、最終的な判断は大会実行委員会に委ねます。）

(2) 第54回全国大会の準備の進捗状況について

(3) 第55回全国大会の準備の進捗状況について

以下の案件は、今までに全く審議をしておりませんので、今回採決をすることはいかかと思えます。よって、理事の先生方のご意見を書面にてお聞かせいただきたくよろしくお願いいたします。ここに、事務局の見解を表明させていただきます。

(4) 協会に協力してくださる方の賃金について

事務局や編集委員会での作業にご協力いただいている方々への賃金が長年にわたって時給1000円です。この件について東京都の最低賃金1013円（2020年）よりも安く、協力して下さっている方々の経歴や力量に見合うものではないから、値上げをするべきだという意見があります。事務局としては、2019年度の編集委員会の人件費の実績に基づき仮に20%上げるとすると時給1200円で編集委員会の人件費全体としては10万円ほどの増額となり、学会誌関連費の額も10万円上

げする必要があります。今年度は雑誌の発行もないので従来通りとしていただき、来年度からこの金額でご協力いただけたらどうか。事務局へのご協力に対してもこの金額は適用されるものと考えます。また、この金額も決して十分でないということであれば、理事会での議論を尽くしながら、段階的に増額していったらいかかと存じます。

(5) 国際モンテッソーリ協会への寄付の凍結について

当協会（学会）は、昨年度まで、オランダにある国際モンテッソーリ協会へ、1年1度10万円の送金（寄付）を行ってきました。しかし、今年からは、従来のように郵便局からの国際送金が行えなくなりました。法人または、法人格を持たない団体からの国外への送金ができなくなったからです。個人口座からは可能だが、それなりの理由（必然性）が求められます（テロへの資金援助だったりするといけないので）。さらに、国際モンテッソーリ協会から当協会に対しては、少なくとも10年以上にわたって寄付に対して何の音沙汰もありませんでした。よって、ここでひとまず国際モンテッソーリ協会への寄付を凍結し、やがて、国際モンテッソーリ協会とのつながりのある方が当協会（学会）の役員に就任した折に改めて国際モンテッソーリ協会への寄付を再開していただきたいと考えています。

(6) 退会についての会則の変更について

会員であった方が退会をされる場合は、現在、会員であった年度までの会費をお支払いいただいています。これは、入会時にお渡ししている文書に、「万一ご退会の場合には当協会の FAX または E メールで退会の旨を伝え、必ずその年度までの会費はお納めください。」と記されていることを根拠としています。ところが、最近、退会希望の会員から、「会則（第5条5項(3)号）に、1年以上会費を納めない時には会員の資格を失うという記述があるので、1年会費を納めなければ会員でなくなるのだから、たとえ退会時に複数年の会費の未支払いがあったとしても、退会年までの清算は必要ないのではないか」という問い合わせが多数ではないが複数件ありました。よって、会則をこの点についてより明確化する必要があるのではないかと考えます。

例えば、日本児童学会の会則第8条には次のような記述があります。

第8条

2. 退会しようとする者は、未納の会費を納入の上、所定の退会届を本会事務局に提出し、理事会の承認を得るものとする。但し、既納の会費は返納しない。

以上

〈差替〉

(収入の部)

自: 令和元年7月1日 至: 令和2年6月30日

令和2年7月1日～
令和3年6月30日

科目	令和元年度予算	令和元年度決算	摘要	令和2年度予算案
会費(個人)	3,000,000	3,012,000	5000(円)×延べ600(人)2000(1名)	3,000,000
会費(団体)	1,200,000	1,280,000	5000(円)×延べ256(口)	1,200,000
会費(維持)	500,000	490,000	10000(円)×延べ49(口)	500,000
入会金	150,000	104,000	2000(円)×52(口)	150,000
会費計	4,850,000	4,886,000		4,850,000
寄付金	0	0		0
ディプロマ代	300,000	429,000	143名	300,000
書籍代金	20,000	27,071		20,000
学会誌広告料	200,000	185,000	各コース、出版社より	200,000
大会準備金の返金	500,000	500,000	北陸支部より	500,000
利子・利息	3,000	3,003	ゆうちょ銀行、三井住友銀行 東京三菱UFJ銀行(普通・定期)	3,000
雑収入	0	32		0
JAM支援金	800,000	1,000,000	北陸支部より	800,000
寄付金～支援金 までの小計	1,823,000	2,144,106		1,823,000
前年度繰越金	14,818,021	14,818,021	現金・普通預金・振替口座	14,906,093
	33,555,828	33,555,828	定期預金	33,558,418
合計	55,046,849	55,403,955		55,137,511

(支出の部)

科目	令和元年度予算	令和元年度決算	摘要	令和2年度予算案
消耗品費	30,000	4,199	コピー用紙、FAXリボン、インク(プリンター)	30,000
通信運搬費	500,000	348,782	ヤマト運輸(273,462) NIT(126,821)	500,000
HP費	200,000	149,998	HP保守費(132000)	200,000
交通・宿泊費	1,800,000	765,110	事務局・理事会出席の理事	1,800,000
ルーメル・モンテッソーリ 奨励金	150,000	0	該当者あれども本年度実施せず	150,000
印刷製本費	300,000	265,116	事務局日より及び封筒(127,440) 選挙関係(113,508)	300,000
人件費	1,800,000	1,642,000	事務局(1,660,000)、 監事への謝礼(60,000)	1,800,000
賃貸料(含む管理費)	543,084	543,084	富坂キリスト教センター(45257×12)	543,084
会議費	60,000	42,209		60,000
支部活動費	170,000	60,000	中部支部・近畿支部	200,000
学会誌関連費	1,800,000	2,076,702	編集委員会活動費 学会誌製作費(プリントボーイ)	300,000
渉外費	120,000	88,941	からしだね寄付、歳暮・中元(5名)	120,000
会費	150,000	150,000	日本学術協力財団(50,000) AMI(100,000)	150,000
書籍支払金	10,000	0		10,000
手数料	15,000	10,396	ゆうちょ銀・三井住友銀行他	13,000
税金	100	11		100
雑費	0	15,000	会員(誤入金)に返金した金額	0
大会準備金	500,000	460,216	四国支部	500,000
ルーメル・モンテッソーリ 奨励基金運営費	150,000	0		150,000
予備費	500,000	317,680	名簿製作費	500,000
支出小計	8,798,184	6,939,444		7,326,184
次期繰越金	12,692,837	14,906,093	現金・普通預金・振替口座	14,252,909
	33,555,828	33,558,418	定期預金(含ルーメル・モンテッソーリ 奨励基金10,000,000円)	33,558,418
合計	55,046,849	55,403,955		55,137,511

(単位:円)

令和2年2月6日 上記の通り報告いたします。
令和2年2月8日 監査の結果、上記報告通り相違あり

事務局長
赤松廣政
監事
山本雅子

鈴木弘美
赤松廣政
山本雅子

日本モンテッソーリ協会(学会)令和2年(2020)年度前期事業報告並びに当年度内予定書	
令和2年	
8月9日	定期総会に代わる全国理事会(書面議決)の書類を全理事・監事に発送
9月1日	上記全国理事会の書面議決の結果を全理事・監事に通知
9月4日	「事務局だより」No.15作成開始
10月下旬	事務局だより」No.15発行並びに会費請求書を全会員宛発送
11月上旬	上記請求に対して納入された会費の整理
11月11日	第Ⅰ回常任理事会(1月23日開催予定)の在り方を問う「お伺い」を常任理事、監事、第53・54・55回大会実行委員長に発送
11月27日	上記常任理事会を書面議決で行うことを決定し、常任理事、監事、第53・54・55回大会実行委員長に通知
12月3日	Zoomによる編集委員会を開催
12月中旬	令和2(2020)年度中間決算報告書並びに会計監査資料を作成し監査を受ける。
令和3年	
1月8日	ZoomによるL・M奨励基金受賞者選考委員会を開催
1月中旬	第Ⅰ回常任理事会の資料および表決書を全理事・監事に発送。全理事参加の拡大常任理事会とする。
2月中旬	第Ⅰ回常任理事会の表決結果を全理事・監事宛発送
(以下は、コロナウイルス感染拡大状況により、変更または中止されることがあることをお含みおきください。)	
3月中旬	第Ⅱ回常任理事会開催通知を常任理事・監事、第53・54・55回大会実行委員長宛発送 (メールまたは郵送)
4月24日	第Ⅱ回常任理事会開催 於: SJハウス応接室(or岐部ホール)
5月中旬	上記議事録を全理事・監事宛発送 全国理事会開催通知発送 (メールまたは郵送)
7月中旬	令和2(2020)年度決算報告書並びに会計監査資料を作成し監査を受ける。
7月25日	「第17回支部長会議」・「第21回コース責任者会議」・「全国理事会」開催
7月26日～28日	第53回全国大会開催 於: ザクラウンパレス新阪急高知
7月27日	定期総会開催
7月28日	編集委員会開催
* 他に、編集委員会、L・M奨励基金受賞者選考委員会は適宜開催の予定	

（収入の部）

自：令和2年7月1日 至：令和2年12月5日

科目	令和2年度予算	令和2年度中間決算	摘要
会費（個人）	3,000,000	2,220,000	5,000円×延べ444人
会費（団体）	1,200,000	960,000	5,000円×延べ192口
会費（維持）	500,000	380,000	10000円×延べ38口
入会金	150,000	104,000	2000円×52口
会費計	4,850,000	3,664,000	
寄付金	0	0	
ディプロマ代	300,000	6,000	
書籍代金	20,000	0	
学会誌広告料	200,000	320,000	各コース、出版社より
大会準備金の返金	500,000	0	
利子・利息	3,000	327	ゆうちょ銀行、三井住友銀行、みずほ銀行
雑収入	0	0	
JAM支援金	800,000	0	
寄付金～支援金 までの小計	1,823,000	326,327	
前年度繰越金	14,906,093	14,906,093	現金・普通預金・振替口座
	33,558,418	33,558,418	定期預金
合計	55,137,511	52,454,838	

（支出の部）

科目	令和2年度予算	令和2年度中間決算	摘要
消耗品費	30,000	1,299	
通信運搬費	500,000	94,723	NTT(66150)ヤマト(9643)JP(18930)
HP費	200,000	4,125	プロバイダー料金
交通・宿泊費	1,800,000	15,920	事務局員
ルーメル・モンテッソーリ 奨励金	150,000	0	
印刷製本費	300,000	146,500	事務局だより(122650) (封筒含む) コピー代(1100枚他)
人件費	1,800,000	447,500	事務局
賃貸料（含む管理費）	543,084	271,542	富坂キリスト教センター
会議費	60,000	2,000	
支部活動費	200,000	30,000	中部支部
学会誌関連費	300,000	143,020	委員会活動費(100000の立替金を含む)
渉外費	120,000	14,580	歳暮(5件)
会費	150,000	50,000	日本学術協力財団(50000)
書籍支払金	10,000	0	
手数料	13,000	2,190	三井住友銀行・ゆうちょ銀行他
税金	100	6	
雑費	0	0	
大会準備金	500,000	500,000	四国支部
ルーメル・モンテッソーリ 奨励基金運営費	150,000	0	
予備費	500,000	0	
支出小計	7,326,184	1,723,405	
次期繰越金	14,252,909	17,173,015	現金・普通預金・振替口座
	33,558,418	33,558,418	定期預金(含ルーメル・モンテッソーリ奨励基金10000000)
合計	55,137,511	52,454,838	

(単位＝円)

令和2年12月6日

上記の通り報告いたします。

事務局長

鈴木弘美

令和2年12月8日

監査の結果、上記報告通り相違ありません。

監事
監事

赤松廣政
山本雅弘

日本モンテッソーリ協会（学会）「令和2年度第I回常任理事会報告」付記

同上報告書の資料4頁が白紙になっておりました。それは貸借対照表でした。

次頁をご覧ください。

また、資料10頁に掲載されている大会の開催予定日と、会員の皆様に四国支部から最近送られた葉書に掲載されている開催日は異なっています。葉書の日付けに変更されました。

ご注意ください。

貸借対照表（B/S）（案）（令和2年12月5日現在）

（単位：円）

I. 資産の部

勘定科目	前年度	当期		備考
現金	1,650	6,908	6,908	(次期への繰越金)
普通預金	2,856,916	3,957,657		三井住友銀行普通預金口座
	76,559	1,687,289		郵便振替口座
	3,715,056	3,715,072		みずほ銀行普通預金口座
計	6,648,531		9,360,018	
貯金	8,255,912		7,806,089	ゆうちょ銀行総合口座
定期預金	10,116,526	10,116,526		三菱UFJ銀行定期預金口座
	20,441,892	20,441,892		三井住友銀行定期預金口座
	3,000,000	3,000,000		三井住友銀行定期預金口座
計	33,558,418		33,558,418	
資産合計	48,464,511		50,731,433	

II. 負債の部

勘定科目	前年度	当期		備考
その他の固定負債	10,000,000		10,000,000	ルーメル・モンテッソーリ奨励基金引当
負債総合	10,000,000		10,000,000	

III. 正味資産の部

前年度繰越高	20,440,161			三井住友銀行定期預金口座
	3,000,000			三菱UFJ銀行定期預金口座
	10,115,667			定期預金を除く現金・預金
	14,818,021			前年度繰越金
計	48,373,849		38,464,511	
消費収支差額	-9,909,338		2,266,922	当期消費収支差額
	38,464,511			
正味資産の合計	38,464,511		40,731,433	次期への繰越金＝余剰金
合計	48,464,511		50,731,433	負債の部＋正味資産

財産目録

（案）

（令和2年12月5日現在）

資産の部

（単位：円）

勘定科目	前年度	当期		備考
現金	1,650	6,908	6,908	
普通預金	2,856,916	3,957,657		三井住友銀行普通預金口座
	76,559	1,687,289		郵便振替口座
	3,715,056	3,715,072		みずほ銀行普通預金口座
計	6,648,531		9,360,018	
貯金	8,255,912		7,806,089	ゆうちょ銀行総合口座
定期預金	10,116,526	10,116,526		三菱東京UFJ銀行定期預金口座
	20,441,892	20,441,892		三井住友銀行定期預金口座
	3,000,000	3,000,000		三井住友銀行定期預金口座
計	33,558,418		33,558,418	
資産合計	48,464,511		50,731,433	

令和 2年 12月 6日

上記の通り報告いたします。事務局長

鈴木弘美

令和 2年 12月 18日

上記の通り相違ありません。監事

赤松 廣政
山本 雅彦

2020 年度前期決算書参考資料

—繰越金の内訳(定期預金を除く)—

1) ゆうちょ銀行総合口座	7,806,089
2) 三井住友銀行普通預金通帳	3,957,657
3) 郵便振替口座残高	1,687,289
4) みずほ普通預金通帳(寄付専用口座)	3,715,072
5) 手持ち金	6,908

合計 17,173,015

—繰越金(定期預金)の内訳—

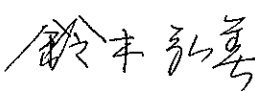

1) 三井住友銀行	20,441,892
2) 東京三菱 UFJ 銀行	10,116,526
3) 三井住友銀行	3,000,000

合計 33,558,418

上記の通り相違ありません。

令和 年/2月6 日

事務局長

日本モンテッソーリ協会（学会）
会長（理事長） 前之園幸一郎殿

監 査 報 告 書

日本モンテッソーリ協会(学会)の2020年前期の会計及び業務監査について

標記の件に関し監査いたしましたところ、報告書の通り相違ありませんでしたことをここに報告申し上げます。

なお、関係書類・計算書及び当該書類に関しても適切な執行、適切な処置と認めます。

令和2年2月8日

日本モンテッソーリ協会（学会）

監事：赤松廣政 

監事：山本雅子 

令和2年12月9日
編集委員長 江島正子

常任編集委員会 2020年 第1回 ZOOM ミーティング

* ZOOM 環境にある常任編集委員でミーティングを開催した。

日時 2020年12月3日 19:00~20:20

出席 前之園幸一郎 鈴木弘美 岡田耕一 甲斐仁子 江島正子（敬称略）

欠席 林信二郎（敬称略）

- 報告
1. 林悦子会員から『モンテッソーリ教育』への自由投稿が10月に届く。
本会員は第53号編集開始を待つ旨、了解済。
 2. 阿部真美子常任編集員から第52号のための査読表が2020年11月27日に届く。第52号は既に2020年3月31日発行。
 3. 『モンテッソーリ教育』第53号は四国大会に基づき刊行することが確認された。特に基調講演の内容は掲載する。

その他 新型コロナウイルス感染症の拡大のために ZOOM ミーティングで久しぶりにお互いに顔合わせができ、最近の情報交換を行った。

以上

江島正子

令和3年1月8日
ルーメル賞選考委員会 委員長 江島正子

第7回ルーメル賞受賞者選考委員会
第1回 ZOOM ミーティング

日時 2021年1月8日 13:00~14:00

出席 前之園幸一郎 関聡 甲斐仁子 江島正子 鈴木弘美(事務局)(敬称略)

報告 第7回「ルーメル賞」受賞者選考委員会の第1回 ZOOM ミーティングにおいて天野珠子氏が第7回「ルーメル賞」受賞者に全員一致で推薦された。

推薦理由

(1) 天野珠子氏は上智モンテッソーリ教員養成コースでモンテッソーリ・ディプロマを取得し、わが国において大学教員、また実践家として半世紀を超えてモンテッソーリ教育の普及と発展のために尽力された。現在、日本モンテッソーリ協会(学会)の副会長(副理事長)、特定非営利活動法人東京モンテッソーリ教育研究所理事長として教員養成コースに携わっておられる。

(2) 単に功績があっただけではなく、それ以上に全国大会でモンテッソーリ教育の実践に基づく課題を研究テーマに研究発表を行い、その後、学会誌に投稿された。『モンテッソーリ教育』第52号掲載の実践報告・事例報告 天野珠子他「年長児の敏感期に適応した教育活動の研究」(日本モンテッソーリ協会、2020年3月31日発行、113-124頁)を参照。

(3) 昨年(2020年)12月6日、わが国の小惑星探査機「はやぶさ2」がオーストラリアの砂漠に無事カプセルを放出し、約6年に及ぶ宇宙の旅を終えて地球に帰還した。小惑星リュウグウでサンプル採取や探査を行い、わたしたちと関係の深い太陽系や、生命誕生の秘密に迫る、日本科学者のミッションの達成に胸を熱くして、今も想起する人は多い。

「年長児の敏感期に適応した教育活動の研究」内容は、わたしたち大人さえも胸がわくわくする「はやぶさ2」と同じなのである。JAXAのある相模原から遠くない小田急線の経堂にある天野氏の「愛珠幼稚園」の年長児が、モンテッソーリ教育における敏感期と絡み合わせて、毎日の園生活で活動を繰り広げている姿が眼前に彷彿とさせられる。モンテッソーリ教育界の最前線から保育界をリードしておられる天野珠子氏を高く評価し、第7回ルーメル賞に推薦する。

以上

第 53 回全国大会の開催について（四国支部実行委員会より）

JAM 理事会様

WEB での全国大会開催についての検討依頼

新年明けましておめでとうございます。皆様にとって本年が素晴らしい一年となりますようお祈りいたします。

さて、中止となりました 2020 年夏の全国大会を延期し、2021 年の夏は開催できるものと実行委員会では準備を進めてきたところではありますが、皆様ご承知の通りここに来てなおコロナウイルスの感染は収まることなく、今年の夏も安心安全に開催出来る状況であるかは不透明であります。

そんな中、実行委員会では“学会として 2 年の空白をつくらない”ことを前提に、WEB での大会開催も視野に検討、調査をしております。しかしながら、JAM としても前例のない取り組みとなりますし、様々なご懸念もあろうことかと思えます。実行委員会でも議論いたしました。が、なにしろ初めてのことなので賛否両論、結論に至らず、皆様のお知恵を戴こうということになりました。

つきましては、理事の皆様、WEB での大会開催についてのご意見を戴きたく思います。検討に際し、参考にさせていただきたい点を 2 枚目にまとめましたので、ご参考にどうぞよろしく願いいたします。

また、事前に 2020 年に講演・発表予定であった皆様にもアンケートの調査を行いましたので、その結果も併せて添付させていただきます。

WEB での全国大会開催に賛成・反対・2021 年度に限っては賛成など、皆様の忌憚ないご意見をいただけましたら幸いです。

何卒どうぞよろしく願いいたします。

2021 年 1 月 14 日

JAM 第 53 回全国大会 in 高知
四国支部 実行委員会 執行部

【検討に際しての参考事項】

- 中止を避ける
(学会に2年の空白をつくるべきではない)
- 確実性
(コロナが悪化した状況でも確実に開催できるのがWEBでの大会開催)
- 会場開催の不透明性
(一方で、コロナ状況によって中止もあり得るのが会場開催)
- 参加率
(仮に会場での強行開催となった場合、参加者だけでなく発表者も含め高知に集まれるのかどうか。WEBの方が安心して参加できるのでは)
- 判断時期
(大会準備方法が大きく違うので、開催方法の判断は早いほうが良い)
- 運営コスト
(準備も含め運営コストが大きく違う。会場開催>WEB開催)
- 開催コスト
(会場開催で参加者が少なかった場合の運営赤字は大きくなるのが懸念される)
- ジレンマ
(会場開催が望ましいのは、皆同じなのだが、準備のプロセスが違うので、急に「WEBで」という対応は無理かと)
- ノウハウの蓄積
(これから先どのようなことが起こるか分からないので、WEBでの大会実施実績をつくることは意味のあることかと)
- 日程調整
(実は、大会予定日である7月26・27・28日はカトリック幼児教育連盟の全国大会ともブッキングしており、WEBであれば日程調整も可能かと)
- 一体感
(WEBにはどうしても、一体感が出づらいという側面があります。)

講演者・発表者アンケート 回収結果

回収状況(2020.12月28日時点)		26名中23名回答(3名未回答)		
質問	回答結果			
	はい	いいえ		いいえの理由
Q1. 2021年の夏も引き続きご講演、発表を引き受けて頂けますでしょうか。 開催予定日:7月26・27・28日 ※WEB開催の場合、日程が変更となる可能性があります	21	2		・行事と重なったため難しい ・私情で大変申し訳ありませんが、2021年大会での研究発表は、見合わせて頂きます。
Q2. WEBでの大会開催について	賛成	どちらでも可	反対	備考
	9	13	1	・様々なリスク回避として有効 ・WEBでのやり方がよく分からない、また、その準備を進めるための時間を取るのが難しい ・コロナの影響が無いと判断されたときは集まってもよいと思う
Q3. ZOOM(ズーム)等を使つての研修や会義への参加及び講演、発表経験はありますか？	あり	なし		備考
	19	4		「なし」だが今後予定あり1名
Q4. Q3で「なし」と答えた方へ カメラのついている端末(PC、スマホ、タブレット)をお持ちですか？	あり(自己所有)	あり(職場)	なし	備考
	2	1	1	
Q5. Q3で「なし」と答えた方へ 身近にPCやWEBに詳しく、サポート頂ける方はいますか？	いる	いない	未回答	備考
	1	2	1	
Q6. WEBでの大会開催となった場合、不安なことや、ご質問があればご自由にご記入下さい。	<ul style="list-style-type: none"> ・準備委員会が大変なご苦労をなさるのではないかと心配 ・WEB開催の場合発表の際会場内の聴講者の方々の雰囲気や状況を見ながらの発表が難しい。 ・例年、当日資料を参加者全員に配布していたのですが、どうなりますか？ ・パワーポイントや動画の使用はできますか？ ・自分ひとりで遠隔での発表するのに不安があります。 ・PCが得意ではないので不安が大きい ・顔を合わせてお話できる方が良いですね ・コロナ禍を知恵と力を結集して困難を乗り越えたいですね ・日程が変更となる場合はお早めにお知らせ下さい ・高齢の方が多くても懸念されます ・WEBであれば参加できる人数も増えるのではないのでしょうか？ ・「どのような形にせよ開催する方針」に全面的に賛成です ・弊トレーニングコースは今年度、「Zoomのみの開催」、「対面のみ開催」、「対面の参加者とZoomの参加者両方いる開催」の全てを経験しました ・新旧の出会いや、同窓会的な機会が無くなること ・インターネット環境や回線の不具合を想定しておかなければならないかと 			

第 54 回大会（北海道支部担当）の進捗状況について

2021 年 1 月現在の、第 54 回大会に関する北海道支部での状況をお知らせいたします。

*日程について（2022 年 7 月 31 日 8 月 1 日 2 日）

- ・ホテルの仮押さえは 7 月 30 日 31 日 8 月 1 日 2 日です。（すべてのイベントが後押しされこの日のみが可能）

*参加の仕方

- ・現在の状態が平常に戻ることはかなり難しいと思われるので、参加の仕方に大きな工夫が必要と思われる。会費の設定・運営の仕方など四国大会をお手本に創意工夫が課せられています。

以上の通り、新型コロナウイルス感染症の拡大は、大会開催にも様々な影響を受け支部会の集まりができておりませんので大会テーマや基調講演など進展はありません。余談ですが、これをきっかけに、この全国大会の意義の見直しを問う時期でもあると思いました。

以上

北海道支部長 前鼻百合江

第 55 回大会（中部支部担当）についてのご報告

- ・2023 年 8 月上旬に開催予定
- ・会場は、名古屋市内「メルパルク名古屋」を予定
- ・事務の取りまとめは、名鉄観光名古屋支社に依頼予定

以上

高知、北海道の大会を受けて大会準備を致しております。
宜しく願い申し上げます。

中部支部長 村田尚子

令和3年2月4日

日本モンテッソーリ協会（学会）役員各位

日本モンテッソーリ協会（学会）

会長（理事長）前之園幸一郎 会長印・略

日本モンテッソーリ協会（学会）令和2年度第I回常任理事会（拡大常任理事会）
書面表決の結果について

暦の上では春を迎えましたが、相変わらずお寒い今日この頃でございます。

先生方にはお変わりなくお過ごしでいらっしゃいますか。お伺い申し上げます。

さてこの度は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から、当協会は「令和2年度第I回常任理事会」を書面表決とさせていただきます。お忙しいところを、「書面表決書」のご提出をいただきまして誠にありがとうございました。

下記の通りご報告申し上げます。

記

I. 経過

- * 令和3年1月18日「当協会（学会）令和2年度第I回常任理事会資料」等を当協会（学会）役員に27通を発送。
- * 同年2月1日を締め切りとし、同日22通の表決書を確認
- * 役員総数は28名のところ、5通の表決書が未着であった。他の1名事務局長は棄権をした。
- * 承認・承認せずの数の確認は、会長、議事録署名人2名、事務局長が行った。(pdfでそれぞれに送付)

II. 令和元年度全国理事会表決結果（22/28）

議案番号	議案	承認します。	承認しません。
議案1.	前回の議事の確認（1件の差替え）	22	0
議案2. 報告事項	(1)令和2年度前期事業報告	22	0
	(2)令和2年度前期中間決算報告・同監査報告	22	0
	(3)令和2年度前期員会報告－編集委員会報告	22	0
	－ルメール・モンテッソーリ奨励基金受賞者 選考委員会報告	22	0
	(4)ホームページ管理の件	22	0
議案3. 審議事項	(1) 第53回大会の開催について	承認します。	20
寄せられた意見：大会の空白を作らないためには、WEBが一番リスクが少なく安心安全に開催できると考える。/ 慎重に状況を見ての判断だと思う。/ 53回大会が開催されれば、日取りの見通しがつくので、54回55回大会の準備に取り掛かることができる。/ WEB開催は参加者の一体感が出にくいと思う。/ 新型コロナウイルス感染症は収まっていないと思うので、取りやめよりはよい。		承認しません。	0
		わかりません。	2
		↑ここは3択でしたので、このように表示しました。	

議案番号	議案	承認します。	承認しません。
議案 3.	(2) 第 54 回大会の進捗状況について	22	0
	(3) 第 55 回大会の進捗状況について	22	0

上記の表の通り、全議案につきまして、出席者（表決書提出者）の過半数の「承認する」をもって可決されました。

以上

上記について、事実と相違ないことを確認いたしました。

令和3年2月2日

会長(理事長)：前之園 幸一郎 ㊟

議事録署名人：江島 正子 ㊟

議事録署名人：佐々木 信一郎 ㊟

付記：議案 3. 審議事項の (4) ～ (6) につきましては、先生方から一考に価するご意見をたくさんいただきました。ありがとうございます。事務局でそれぞれのご意見を要約いたしまして、後日お知らせいたします。少々お時間をいただきたくお願いいたします。

令和3年2月5日

日本モンテッソーリ協会（学会）役員各位

日本モンテッソーリ協会（学会）

会長（理事長）前之園幸一郎 会長印略

拝啓

先日の当協会（学会）令和2年度第1回常任理事会における書面議決に際しましては、ご協力をいただきまして、ありがとうございました。

さて、書面表決書の2頁目には、3点（(4) 協会に協力してくださる方々へのお礼¹について、(5) 国際モンテッソーリ協会への寄付の凍結について、(6) 退会についての会則の変更について）に関して、先生方からご意見をいただきたくお願いいたしました。大変貴重な参考になるご意見を賜りましたので、下記にお示しし、協会（学会）事務局としての今後の方針を記しました。

ご高覧をお願いいたします。

敬具

注1 前回（1月18日付け）ご送付いたしました議案書におきまして、これを表す言葉として「賃金」を使用いたしました。ご覧になった先生から、「これは日本モンテッソーリ協会（学会）にそぐわない。協会の仕事はモンテッソーリ教育の発展のために奉仕を旨として行われるものだ。」とご注意を受けました。「賃金」は労働の対価として支払われるものの総称だと思いますが、それが協会にそぐわないとすれば何と申し上げるべきか、考えてみました。その結果、この度、「お礼」という言葉を使わせていただきました。

記

（4）協会に協力してくださる方々へのお礼について

- * 1200円の増額に賛成。（多数）
- * 作業時間の申告がお手盛りにならないように。
- * 1000円は低いと思うが、仕事にどの程度精通しているか、仕事の内容はどのようなものか、によって差し上げるお礼は異なってくると思う。
- * 長く協力をしていただくために多くの犠牲の上に成り立つものではなく、持続可能なシステムにしていきたい。
- * 交通費とお礼は支払うべきだが、高額でなくてもよいと思う。

【協会（学会）事務局としての見解】継続してご協力いただくためには、交通費とお礼は支払うのは当然であり、現在もそのように行われている。このことに反対する先生はいらっしゃらない。しかし、1000円はあまりに低い。差し当たって来年度から1200円に上げる。事務局への協力者にも適用する。

協力者といえども、厳密にいうと「経験」や「技量」に違いがあるので、その辺をどう区別するのは依然として問題である。

（5）国際モンテッソーリ協会への寄付の凍結について

- * 凍結に異議なし（やむを得ない）。（多数）
- * 国際モンテッソーリ協会とのつながりは大切にしたい。
- * AMIとの間に入っていただける方に役員になっていただけたらよいのではないか。（協会（学会）がAMIに加盟すると代表がAMI理事会などに出席する必要があるが出てくるので、それは渡航費などの面で困難かもしれない。）

【協会（学会）事務局としての見解】国際モンテッソーリ協会とのつながりは大事にしたいと考えている。AMIとの間に入っていただける方に役員になっていただき、いつか寄付の凍結を解除する日が来ることを望んでいる。

(6) 退会についての会則の変更について

* 会則の明確化に賛成する。(多数)

* (ある学会の) 会費未納のまま退会を希望している人に対する弁護士の回答が「既に退会するつもりである旨を通知し、会費については事実上の退会後のことなので支払わないで願います」とあったので、当協会の未納退会者が同様の要求をする可能性が予想される。

退会希望者の未納部分について、その間発生した実費（通信費、冊子代等）のみを年額を定めて請求したらどうか。

* 専門家に相談して取り組んでほしい。

* 会則には「1年以上会費を納めないとき」会員としての資格が失われるとあるが、1年は短すぎるのではないか。「2年以上」が妥当ではないか。(複数)

* 1年以上の以上はまたあいまいになり物議を醸すので「3年未納が続くと自動的に会員の資格を失います。」というように明記した方がよい。

【協会（学会）事務局としての見解】会則と入会時にお渡ししている文書（退会時にはどうすべきかを示した部分）に齟齬があるので、協会のあらゆる活動の基準である会則を明確化すべきだと考えている。現状では、「弁護士に相談した」などと言う、未納会費を払うには及ばないと主張する退会希望者が現れたらおそらく太刀打ちできない。現状では、「会則第5条5.(3)」に手を加えるという案が出されているので、それを参考にし、専門家に確認をして、変更したい。しかし、未納会費まで徴収して退会してもらうのか、未納分は納める必要なしとするのか、あるいは未納部分は実費だけ頂くのか、その辺の統一見解が未決なので、まずはそこを確定することから始めることになる、事務局は考えている。

以上

上記文面につきましては、前之園会長、議事録署名人江島正子常任理事、同佐々木信一郎常任理事にお目をお通しいただきました。

付記：審議事項(1)「第53回大会開催について」において、ご意見をお書きいただく欄を設けました。

そこに書かれていたご意見の一つをここにご紹介いたします。

「WEB開催が恒常化するのであれば、はじめからある程度のルールづくりが必要ではないでしょうか？」

そして、その内容は複合的であり、一つの支部に任せることはできない、と述べられています。今回の四国支部によるWEB開催は当協会（学会）で初めてのことであり、やむを得ないことであります。よって、四国支部でWEB開催を実施していただき、その経験に基づいてご指摘の内容を整備してゆくことになるのではないかと考えます。本理事会の論点は、「WEB開催」を理事会は承認するかどうか、ということでしたので、大変重要な、やがて必ず考えなければいけない問題かとは思いますが、先送りさせていただきます。